

一関地域市街地活性化施設 愛称を募集

旧ダイエー一関店が一関地域市街地活性化施設として新しく生まれ変わります。
市は、皆さんから新しい施設の「愛称」を募集します。

市は、市内大町の一関地域市街地活性化施設(旧ダイエー一関店)の愛称を募集します。

同施設は鉄筋コンクリート造り地上4階地下1階建て、延べ床面積1万1,100平方メートルです。1階は物販施設「新鮮館おおまち」、FMサテライトスタジオ、おやこ広場が入ります。2階は市民のさまざまな活動に対応するオープンスペースにします。3階には一関文化センターから移転する一関公民館と高齢者の活動拠点「(仮称)シニア活動館」など、4階にはジョブカフェ一関、FMあすも、市民活動センターが入居します。

施設は現在、年内完了に向け改修工事を進めており、年度内の利用も視野に入れています。

新しく生まれ変わる施設は、市民に親しまれ、多くの人が集まる身近な施設を目指します。7月17日から「愛称」を募集します。皆さんの応募をお待ちしています。

「愛称」の募集

■応募期間 7月17日④～8月16日⑤

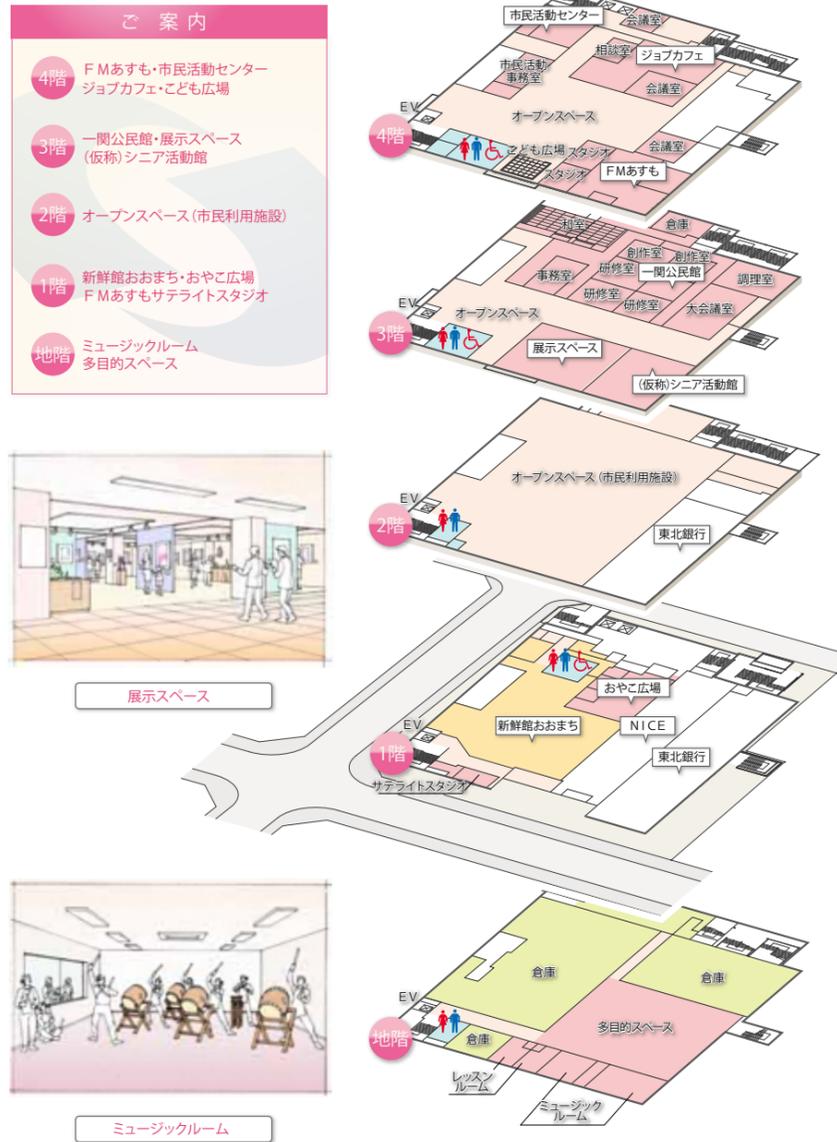
■応募資格 どなたでも可

■応募方法 ①愛称(ふりがな)②命名の理由③住所④氏名(ふりがな)※小学生以下の場合は保護者の氏名も記載⑤年齢⑥電話番号⑦施設(特に2階の市民利用施設)の利用方法に望むことを明記の上、所定の応募用紙またははがき、封書、ファクス、電子メールのいずれかで応募してください

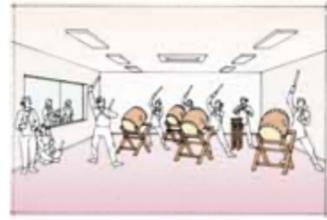
*①～⑥は必須、⑦は自由意見です。応募用紙は、市役所商業観光課、支所産業経済課にあります(市ホームページからもダウンロードできます)

■表彰 応募作品の中から1点を決定し、賞状と副賞(いわて南牛)を贈ります *同一作品の場合は抽選

一関地域市街地活性化施設(完成予定)



展示スペース



ミュージックルーム



■応募先・問い合わせ先
〒021-8501(住所不要)
一関市役所商工労働部商業観光課
☎0191・21・8412
Fax0191・31・3037
電子メールshokan@city.ichinoseki.iwate.jp

市内の放射性物質濃度測定結果 野菜は不検出

市内で測定された農林水産物の放射性物質濃度をお知らせします。
県の検査計画に基づく野菜は全て不検出でした。

＜表1＞一関市産野菜の放射性物質濃度検査結果(4～6月)

品目	測定結果	検出下限値
ナス(露地)	不検出	19未満
トマト(ハウス)	不検出	16未満
ピーマン(露地)	不検出	17未満
キュウリ(ハウス)	不検出	19未満
トマト(ハウス)	不検出	14未満
ピーマン(ハウス)	不検出	20未満
ナス(ハウス)	不検出	19未満
キュウリ(ハウス)	不検出	19未満

測定機関 岩手県農業研究センター
測定機器 ゲルマニウム半導体検出器

＜表2＞放射性セシウム134と137の合計値の結果区分ごとの検体数(6月分)

品目	基準値(100ベクレル/kg)以下の検体数()内は「不検出」(*注1)検体数	
	基準値(100ベクレル/kg)以下の検体数	基準値(100ベクレル/kg)超過の検体数
穀類		
大豆	7(6)	0(*注2)
タマネギ	71(71)	0
大根	41(41)	0
キャベツ	39(39)	0
ジャガイモ	23(23)	0
ニンニク	20(20)	0
白菜	19(19)	0
レタス	11(11)	0
ラッキョウ	10(10)	0
ブロッコリー	8(8)	0
ホウレンソウ	8(8)	0
野菜類		
ミョウガ	8(8)	0
ネギ	7(7)	0
ニンジン	6(6)	0
シソ	5(5)	0
チンゲンサイ	5(5)	0
カブ	4(4)	0
スナップエンドウ	4(4)	0
イチゴ	3(3)	0
キュウリ	3(3)	0
ナス	3(3)	0
ニラ	3(3)	0
山菜類		
フキ	28(28)	0
ワラビ	5(5)	0
果実類		
梅	20(18)	0
ブルーベリー	6(6)	0

●測定検体数が3以上の品目を一覧

●4月からの食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg)に基づき区分。※注1…「不検出」は検出限界値未満を示し、核種ごとに25ベクレル/kg(40分測定)。※注2…豆類は新基準値移行に伴う経過措置により暫定規制値500ベクレル/kg

●測定場所 南部農業技術開発センター(花京町金沢)北部農業技術開発センター(大東町摺沢)

●測定機器 トライアスラーベクレルファインダー(シンチレーション放射線核種測定器による簡易測定)

一関市産の農産物は不検出

県が「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づき全県で実施した一関市産の農産物(4～6月分)の放射性セシウムは、4品目8検体全てで不検出でした。(表1)
市民が持ち込んだ農林水産物(自家用や産直出荷用、6月分)は、測定した409検体全てで食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg、豆類は暫定規制値500ベクレル/kg)を超えるものはありませんでした。

りませんでした。このうち野菜は、いずれも不検出でした。(表2)

アイヌは不検出、イワナなどは出荷規制

県内全域で実施されたアイヌの放射性物質検査の結果、本市の砂鉄川水系をはじめとする39採取地点全てで、放射性セシウムは食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg)を下回りました。砂鉄川水系は6月14日に採

取、放射性セシウムは合計13ベクレル/kg(ゲルマニウム半導体検出器で測定)でした。

市内で国から出荷制限を指示されている魚種と漁場は、▼イワナ(養殖以外)：磐井川(支流を含む)、砂鉄川(支流を含む)▼ウグイ：大川(支流を含む)、北上川水系(磐井川、砂鉄川などの支流を含む)です。

市内で県から採捕自粛を要請された魚種と漁場は、▼ヤマメ：磐井川(磐井川上流漁協の管理漁場)です。

放射能測定情報はこちらから

- 市ホームページ「環境放射能に関する情報」(福島第一原子力発電所事故関係) <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/1,0,157,html>
- 岩手県ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/>「環境放射能に関する情報」(福島第一・第二原子力発電所事故関係)など